

18 きっぷアンケートの正しい書き方

国鉄時代に青春18きっぷが登場してから20年程が経つが、民営化で企業として収益が重視されるようになったことから最近では見直しや廃止の噂が耐えない。

18きっぷの存続を求めるには、何らかの形でJRに働きかける必要があるが、利用客の独りよがりな意見では採用されないの、JR側の立場に立った尊属を推進する意見を上げる必要がある。このアンケートの書き方ひとつでJRに与える印象が大きく変化するのである。

そこで、「18きっぷアンケートの正しい書き方」をまとめたので、この趣旨に沿ってアンケートに記入・投函し、18きっぷの存続を推進しようではありませんか。

表面は特に注意点はありません。

日帰り旅行か宿泊(出発地に戻らない)かは難しいが、地方交通線を入れるなどいずれにせよ旅行っぽい内容が望ましい。
JRとしては18きっぷがなくても需要があるビジネスや用務で格安切符を使用されたくないのが本音である。

5回分の1~2回は通常の運賃が原価(2300円)程度のものを作ろう。この例では5回しているが、わざと1~2回は省略するのもよい。
1回あたりで見ると、2300円から実際に利用した運賃を引いた額が死蔵額となる。死蔵額はJRの収入となる。この収入が大きければ多いほどJRは18きっぷを発売する意欲が出るのだ。

18きっぷは個人利用客も多いが1つは複数で18きっぷを使った事例を書こう。もちろん2つ3つあるのは歓迎。
18きっぷは以前、5枚綴りだったが、1枚で5回分となって不便になっているが、一人旅5回という回答ではその策の推進を助長することになる。

1. この「青春18きっぷ」一枚(5回分)をどのように使いましたか
ご利用になった月日、人数、乗車区間をご記入ください

乗車区間	
12月22日 (1人)	金沢 - 敦賀 - 長浜 - 米原 - 岐阜 - 美濃大田 - 高山 - 猪谷 - 富山 - 金沢
12月29日 (1人)	金沢 - 福井 - 武生 / 福井 - 金沢
1月7日 (1人)	金沢 - 田村 - 新大阪
1月13日 (2人)	新大阪 - 京都 - 近江今津 - 福井 - 金沢
月日 (人)	

2. 最初のご旅行についてお聞かせください

もし、「青春18きっぷ」がなかったら(ひとつに○印)

1 旅行しなかった 2 他のJRきっぷで旅行した

3 JR以外の交通機関で旅行した (番号に○印)

i 飛行機 ii バス iii マイカー iv フェリー v その他

ご協力ありがとうございました

ここは嘘でもいいから「3」に印をしよう。他の交通機関に対抗するべく、という理由であれば簡単には廃止できないであろう。比較対象は飛行機、バスなどいろいろあるが、これはどれでも大差ない。とにかく、「このままではいけない」とJRに危機感を与える選択肢はこれしかないのである。この選択肢を受けて見直しは考えられても廃止にはできない。

「1」は弱い意見である。これだとJR側が「需要を喚起した」と判断すればいいが、JR職員には青春18きっぷ利用者を「原価割れで乗せている邪魔な客」と思っている人も多く、「邪魔者はこれ以上いらぬ」と判断し廃止につながる可能性もある。

「2」は厳禁である。JR側は「18きっぷを廃止したら他のきっぷの売り上げが伸び、トータルで利益が増える」と判断し、18きっぷの廃止を推進してしまうので絶対につけてはならない。この選択肢にだけは絶対に印をつけてはならない。